

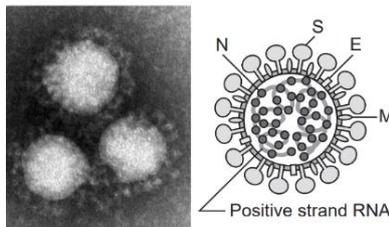


時事寸考

シーダ・ウォーク施設長・医師の吉田です。新型コロナの感染予防に関しましてはいろいろとご不便をおかけしていますが、ご協力に深く感謝申し上げます。

ワクチン接種が各国で始まりましたが効果や副作用については追ってお知らせすることとして、まずはこのウイルスについて復習しましょう。

図Sはコロナウイルスに特徴的なスパイク様の表面タンパクで細胞との接着に参与します。Positive strand RNA(+鎖RNA)はウイルスの遺伝子です。細菌を含めすべての生物の遺伝子は2本鎖DNAですがコロナウイルスの遺伝子は1本鎖のRNAで、+鎖というのはそのままアミノ酸配列に翻訳されるということです。図Eはエンベロップという脂質を主成分とした膜ですがこれを持つウイルスはエタノール(70~80%)で破壊できます(インフルエンザウイルスにもありますがノロウイルスにはありません)。検査としてはウイルスRNA自体を調べるPCR検査とウイルスタンパクを調べる抗原検査があります。抗原検査の方が簡便ですが感度はPCRに劣ります。免疫が生じるとウイルスタンパクに対する抗体が生じますが、これを人為的に作ろうというのがワクチンです。ウイルスRNAの一部(おそらく表面タンパクをコードする部分)を人工の脂質膜に包んだもの(ファイザー、モデルナ)や無害化したアデノウイルスに組込んだもの(アストラゼネカ)が使われはじめています。



図Sはコロナウイルスに特徴的なスパイク様の表面タンパクで細胞との接着に参与します。Positive strand RNA(+鎖RNA)はウイルスの遺伝子です。細菌を含めすべての生物の遺伝子は2本鎖DNAですがコロナウイルスの遺伝子は1本鎖のRNAで、+鎖というのはそのままアミノ酸配列に翻訳されるということです。図Eはエンベロップという脂質を主成分とした膜ですがこれを持つウイルスはエタノール(70~80%)で破壊できます(インフルエンザウイルスにもありますがノロウイルスにはありません)。検査としてはウイルスRNA自体を調べるPCR検査とウイルスタンパクを調べる抗原検査があります。抗原検査の方が簡便ですが感度はPCRに劣ります。免疫が生じるとウイルスタンパクに対する抗体が生じますが、これを人為的に作ろうというのがワクチンです。ウイルスRNAの一部(おそらく表面タンパクをコードする部分)を人工の脂質膜に包んだもの(ファイザー、モデルナ)や無害化したアデノウイルスに組込んだもの(アストラゼネカ)が使われはじめています。

栄養科より今月の一押しメニュー



2月2日「節分」の昼食に「のり巻き&いなり寿司、鰯の甘辛煮」をご用意します。「節分」と言えば2月3日のイメージかもしれませんが、節分は「立春」の前日にあたる日であり、

今年は2月3日が「立春」となることから、124年ぶりに2月2日が「節分」となります。寒い日が続いていますが、しっかり食事を取り元気にお過ごしください！！

Cedar Walker 法律相談

「遺産分割協議の成立後に遺言が見つかった場合には」

Q 先日、父親が亡くなりました。相続人は、子である3人の兄弟であり、私は長男です。父親の遺産は、預金と自宅の不動産でした。先日、相続人である3人の兄弟で父親の遺産について話し合いをし、二男が自宅の不動産を引き継ぎ、長男と三男で預金を受け取る内容で遺産分割協議が成立しました。しかし、協議が成立した後に、自宅の仏壇から父親の遺言書が見つかりました。遺言をみると、自宅を長男に引き継がせると書いてありました。私は、父親の希望を実現してあげたいと思いますので、やっぱり遺言書のとおり、私が実家の自宅を引き継ぎたいと思います。すでに遺産分割協議をしてしまっていますが、やり直すことはできるでしょうか。

A 遺産分割協議を成立させたときに、父親の遺言が存在することを知らなかったのであれば、遺産分割協議を無効にすることができます。

<解説>遺言をのこした人(亡くなった父親)は、自分の財産を自由に処分することができます。それと同じように、亡くなったときに自分が残っていた財産の処理の方法についても、遺言を作っていれば自由に決めておくことができます。もし、相続人が、遺言の存在や内容を知らないで遺産分割協議をした場合には、遺言が優先し、遺産分割協議は無効になります。そのため、長男は、遺産分割協議が無効であると主張して、実家の自宅を取得することができます。

では、逆に、相続人である兄弟間で決めたとおり遺産を分配したいと考えたときは、父親の遺言を無視することはできるのでしょうか。いくら父親の意向を尊重する必要があるといっても、遺産を実際に受け取るのは相続人です。相続人の全員が父親の遺言には従いたくないと考えた場合でも、必ず遺言の内容が強制されてしまうのは行き過ぎといえます。そのため、相続人が遺言の存在やその内容を知りながら敢えて遺言と異なる内容の遺産分割協議を成立させた場合は、それを遺言者が禁止していない限り、遺産分割協議が有効となります。

従って、今回の事例でも、父親の遺言を発見した後に、相続人である3人の兄弟であらためて協議を行って、父親の遺言と異なり、二男が実家を取得する内容の遺産分割協議を成立させた場合には、二男が実家を引き継ぐことができます。



クリスマスランチとスイーツを楽しみました

にぎり寿司

4種のケーキ

2020.12.20

クリスマスはフロアごとにイベントを企画し、5階フロアでは今年は皆さんとクリスマスランチとスイーツを楽しみました。お昼ごはんには にぎり寿司(マグロ・サーモン・エビ・帆立・穴子と卵焼き)を、おやつには4種のケーキをご用意しました。(お粥の方はお昼は海鮮たたきのちらし粥、おやつはムースでした)いつもお箸を使う方も、この日は手を使ってお寿司を頬張り、皆さんおいしそうに召し上がっていました。

お昼はマグロやエビなどのにぎり寿司❤️



久しぶりのお寿司に皆さんニコニコです🎵



ケーキもすごくおいしい!!

私はトナカイ~♪



タブレットを操るサンタ

おやつの時間には、職員がサンタとトナカイに変身！クリスマスカードとプレゼントを配ってまわりました。皆さん とても喜んで受け取ってくれました☆

ミニ・ニュース

ピノキオ保育園の子どもたちが来てくれました



11月20日にピノキオ保育園の子どもたちがデイケアに来てくれました。いつもであれば部屋の中でご利用者とのふれあいを楽しんでいただくのですが、今回は窓越しの交流です。「世界中のこどもたちが」の歌を元気に歌ってくれました。



そして、心のこもった手作りのカレンダーのプレゼントもいただきました。ありがとうございます。